

企画展 樋口一葉生誕150年 我が筆とるはまことなり——もっと知りたい樋口一葉

(会期 9月17日～11月23日)関連事業

# 奥山真佐子 朗読公演会



わかれ道 撮影:平野光徳

演者 奥山真佐子

語り—「たけくらべ」「一葉日記」

原作: 樋口一葉

公演内容

樋口一葉ファンの方にも、5千円札の肖像の人とだけ認識されている方にもお楽しみいただけるように、「一葉日記」の朗読とともに、山梨県出身のご両親のことや、当時の時代背景、樋口家の生活状況も語ります。「たけくらべ」では、原作の言葉で、現在のはなじみの薄い語句には説明を加えるなど、工夫した朗読をお届けします。

※「一葉日記」は、一葉の母たきの視点を交えつつ、一葉の残した日記の原文を朗読する演目です。

令和4年

9月23日(金・祝)

開場/13:00 開演/13:30～15:00終了予定

会場/山梨県立文学館 講堂

★入場無料(要申込) ★定員 240 名

※裏面の申込方法をご確認の上、往復はがきでお申込みください。

●新型コロナウイルス感染症の状況により、延期(または中止)する場合があります。

ご来館前に当館HPまたは直接電話でご確認ください。感染症予防対策をして安全確保に努めています。ご理解とご協力をお願いします。





# 奥山眞佐子朗読公演会



奥山眞佐子 おくやま まさこ / 女優

山梨県甲府市生まれ。山梨県立甲府第二高等学校（現・甲府西高等学校）、文教大学短期大学部文芸科卒。千田是也、マキノ雅弘、山田五十鈴、金子信雄、丹阿弥谷津子に師事。  
東宝・芸術座公演「たぬき」を皮切りに、舞台、映画、TV、CM、ナレーションなど多方面で活躍。

1988年7月～1997年

子どもの目に映っている社会を伝えて、大人に考えて欲しいという願いから出発した「子どもの詩をよむ会・おとなってなに？」ひとり芝居公演活動。

1998年8月

「たけくらべ」が教科書から削除されることを知ったことがきっかけとなり、樋口一葉の小説を伝える活動を開始。黙読するには少々難しい一葉作品の原文を、できる限り生かした脚本を書き、生演奏とのコラボレーションによる「樋口一葉の世界・奥山眞佐子ひとり芝居」活動開始。四半世紀となる。

過去の上演作品

「十三夜」「にぎりえ」「大つごもり」「わかれ道」「たけくらべ」「闇櫻」「軒もる月」「この子」「われから」「雪の日」「筆の音」「たま櫛」「五月雨」「別れ霜」「うもれ木」

2012年11月23日

樋口一葉の命日にNHK「視点・論点」に出演。「一葉さんと私」を語る。

2014年

4月からの放送・NHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」で山梨ことば指導。

2014年12月2日

NHK「視点・論点」出演。本来の甲州言葉とドラマ言葉について語る。

2021年4月

生前親交があった宮城まり子さん他界後「宮城まり子さんとねむの木学園」のYouTube制作を開始、制作・配信継続中。

2022年4月

市川房枝生誕130年を前に「権利の上に眠るな～普選、婦選、そして18歳～」の脚本を書き市川房枝役で出演。満席の大好評で、10月29日に脚本が発売される。

2022年10月29日

東京・日本橋三越劇場95周年記念公演予定  
「樋口一葉の世界2022・十三夜・奥山眞佐子ひとり芝居」  
お関：奥山眞佐子／三味線：杵屋邦寿／筆：内藤真代

受賞：「御園座社長賞（演技賞）」

「横浜SAAC・細うで繁盛記賞」／「山人会・第33回前田晁文化賞」



にぎりえ 撮影：椎林隆夫



十三夜 撮影：椎林隆夫

## 申込方法

申込先

〈往信の表面〉

〒400-0065

山梨県甲府市貢川1-5-35

山梨県立文学館「朗読公演会係」宛

記入事項

〈往信の裏面〉

1. 「朗読公演会希望」と記入
2. 郵便番号
3. 住所
4. お名前（フリガナ）
5. 電話番号
6. 参加希望の人数
7. 代表者以外の参加者名

〈返信の表面〉

返信はがきの宛先

申込者の郵便番号・住所・氏名

〈返信の裏面〉

何も記入しないでください。

※1通につき2名まで応募可能です。

※申込多数の場合は抽選となります

※抽選結果は公演の約1週間前までに郵送いたします

申込締切

9月9日(金) 必着

## 入館についてお願い

※新型コロナウイルス感染症予防対策として、ご入館の際には検温、手指の消毒、チェックシートの記入をお願いします。

※展覧会、関連イベントが変更・中止となる場合があります。当館ホームページで最新情報をご確認ください。

## ◆利用のご案内

開館時間 展示室 9:00～17:00（入室は16:30まで）  
閲覧室 9:00～19:00（土・日曜、祝日は18:00まで）

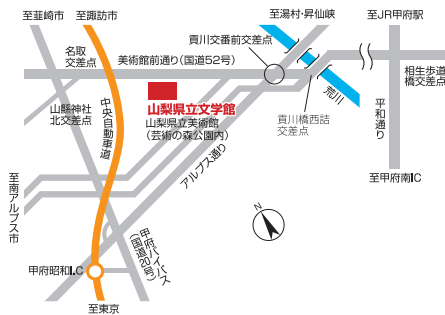
## ◆休館日

月曜日（9月19日、10月10日は開館）、10月11日（火）

## ◆観覧料

|     | 一般        | 大学生       |
|-----|-----------|-----------|
| 企画展 | 600(480)円 | 400(320)円 |

（ ）内は20名以上の団体料金・県内宿泊者割引料金です。  
高校生以下の児童・生徒、県内在住の65歳以上の方、障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料。11月20日（日）県民の日とはなだても無料。



そのことばのつづきへ

山梨県立文学館  
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

## ◆交通のご案内

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

●料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貢川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。

JR中央本線甲府駅より

●甲府駅バスターミナル（南口）1番乗り場より御勅使・竜王駅経由 敷島営業所・大草経由 韮崎駅・貢川団地各行ききのバスで約15分「山梨県立美術館」下車。

※甲府駅からのバスの時刻表は〈山梨交通HP〉よりお調べいただけます。

●タクシーで約15分。

〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-5-35  
TEL:055-235-8080 FAX:055-226-9032  
https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/

公式SNS

